さめがわ

[広報]

4
April 2014
第720号

Public Relations SAMEGAWA





【特集】
平成26年度
当初予算





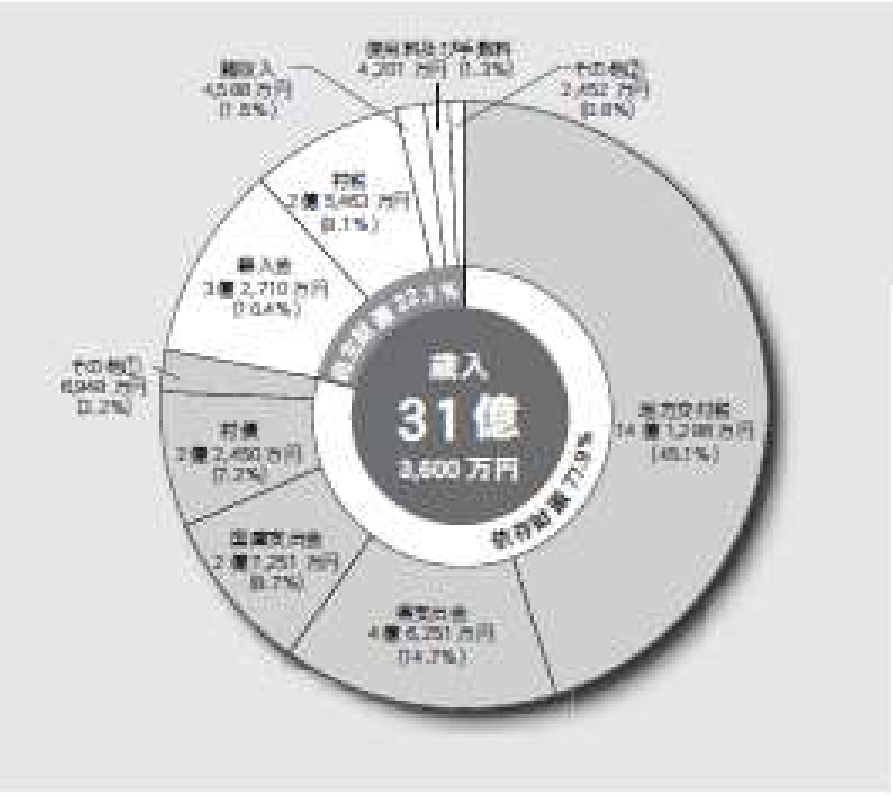


平成26年度

当初予算

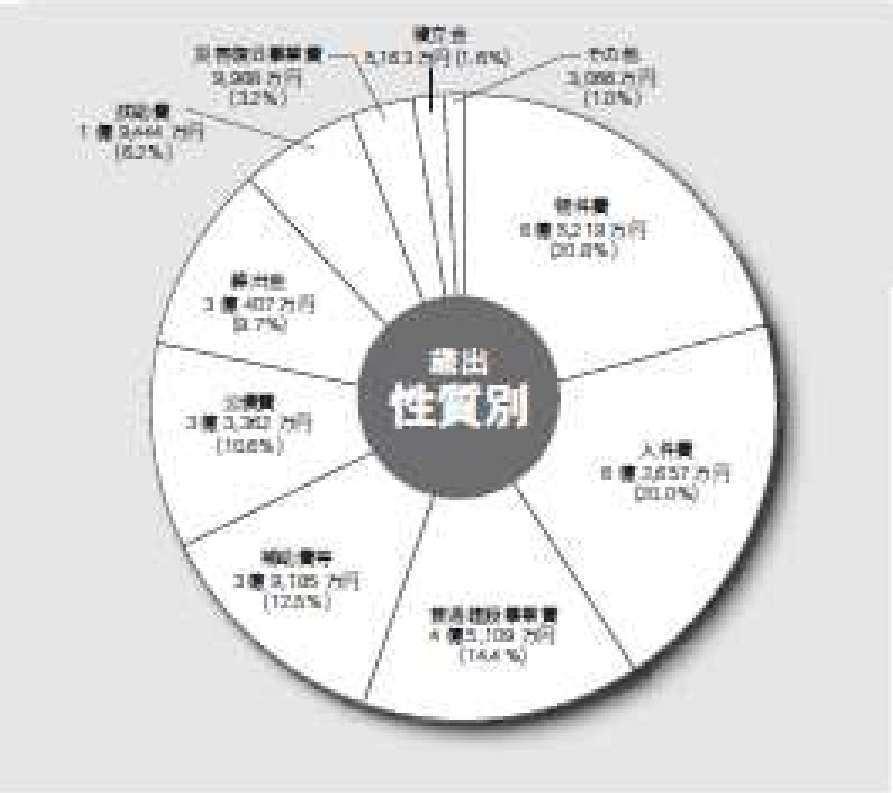
平成26年度の村づくりがスタートしました。一般会計の当初予算は、25年度に比べ2億1800万円（7・5％）増の31億3600万円となりました。26年度は第3次村振興計画の最終年度であるため、計画に掲げた目標の達成に向けて総まとめを行うとともに、24年3月に策定した村復興計画に基づき東日本大震災からの復興を着実に進めていきます。

歳入



3,600万円 前年度比 7.5％増

歳出



用語解説

【歳入関連】

■**自主財源**…村税（村民税や固定資産税など村の税金）や使用料（保育料や住宅使用料など）、財産収入、寄附金など村が自ら確保できるお金。

■**依存財源**…地方交付税や国庫支出金、県支出金、地方債など国や県の基準に基づき交付され、割り当てられるお金。

■**地方交付税**…すべての自治体が一定水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金。普通交付税と特別交付税の２つからなる。

■**繰入金**…各種基金から繰り入れるお金。

■**村債（地方債）**…道路改良や住宅建設、水道整備などのさまざまな事業を行うために長期借り入れるお金。

【歳出関連】

■**物件費**…委託料や消耗品、備品の購入、臨時職員の賃金などに使われるお金。

■**人件費**…職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使われるお金。

■**普通建設事業費**…道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使われるお金。

■**補助費等**…各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使われるお金。

■**公債費**…村債の元利償還金。

■**繰出金**…一般会計から特別会計へ繰り出すお金。

■**扶助費**…高齢者や障害者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使われるお金。

歳入は、「自主財源」と「依存財源」に分けられます。

自主財源は、村税をはじめ村が自主的に収入できるお金で、依存財源は国や県から交付されるお金や借金をいいます。自主財源が多いほど、村の運営は安定し、独自性を保つことができます。

今年度は、国や県の補助金が前年度に比べ増加したほか、財政調整基金や東日本大震災復興基金など各種基金からの繰入金が増加しています。

また、村税や使用料および手数料、諸収入は前年度と同程度となり、村債については減少しています。

一般会計 総額 31億

■会計別予算の状況

会計		予算額	対前年度比	伸び率（%）
一般会計		31億2,600万円	2億1,800万円	7.5
特別会計		13億1,324万円	3,012万円	2.3
国民健康保険	事業勘定	4億6,124万円	△910万円	△1.9
	直診勘定	7,069万円	△271万円	△3.7
簡易水道事業		1億4,900万円	3,725万円	33.3
村営バス事業		771万円	59万円	8.3
集落排水事業		3,102万円	47万円	1.5
介護保険		4億3,887万円	1,536万円	3.6
交通施設		1,410万円	41万円	3.0
学校給食センター		1億419万円	△1,390万円	△11.8
後期高齢者医療		3,632万円	175万円	5.1
予算総額		44億4,924万円	2億4,812万円	5.9

歳出予算のうち、普通建設事業費が前年度に比べ大幅に増えました（41.8%増）。鹿角平観光牧場内のクロスカントリーコースの増設やコテージの新築、村道や農道の舗装・改良工事、小・中学校施設の修繕工事などを行います。

また、農用地や山林、住宅の除染などの各種委託料、臨時職員の賃金、施設の光熱水費、燃料費などが伸び、物件費全体では16.1%の増加となっています。

一方で、村の借金を返済する公債費や職員などの給料を支出する人件費は、それぞれ前年度に比べ減少しました。

村民１人あたりに使われるお金は **802,867円** です。

民生費	159,181円（4,041円増）	教育費	72,521円（10,132円増）
農林水産業費	133,702円（27,026円増）	消防費	37,223円（8,221円増）
総務費	118,887円（20,385円増）	土木費	34,946円（16,586円増）
衛生費	86,017円（2,618円減）	商工費	27,967円（16,095円増）
公債費	85,413円（15,355円減）	その他	47,030円（9,770円増）

※一般会計分のみ。H26.3.1 現在の人口 3,906 人で計算

お金の使いみち



米の放射性物質全袋検査

【農林水産業費】 5億2,224万円

農林業の振興や農林道の整備などのため

○中山間地域等直接支払制度事業 1億763万円
○森林放射性物質対策事業　4,539万円
○農用地除染事業　3,230万円
○大豆振興対策事業　1,349万円
○米の全袋検査推進事業　1,212万円



老人クラブ連合会主催のクロリティー大会

【民生費】 6億2,168万円

高齢者や子ども、障がい者などの福祉のため

○こどもセンター運営費　1億5,145万円
○障がい者福祉事業　9,383万円
○高齢者生活支援事業　795万円
○敬老祝金支給・敬老会開催事業　590万円
○乳幼児紙おむつ給付事業　312万円



消防団員による放水制御（放車検閲）

【消防費】 1億4,539万円

消防施設の整備や消防団活動のため

○広域常備消防運営費　7,712万円
○消防団員防火服購入事業　1,599万円
○防火水槽設置事業　950万円
○小型動力ポンプ積載車整備事業　616万円
○消防車庫整備事業　604万円



教育の伝統技術に高橋庄（竹細工作り）

【教育費】 2億8,327万円

学校教育や生涯学習、体育振興などのため

○青生野小太陽光発電設備設置事業　3,250万円
○小・中学校施設管理事業　3,014万円
○公民館暖房設備改修事業　904万円
○基礎学力・英語力向上推進事業　741万円
○公民館事業　304万円



【衛生費】 3億3,598万円

保健事業や予防接種、環境衛生などのため

○東白衛生組合・東白斎苑運営費　6,797万円
○住宅周辺除染事業　4,000万円
○乳幼児・妊産婦医療費助成事業　1,475万円
○住民健康診査事業　1,443万円
○小児インフルエンザ予防接種事業　130万円



【総務費】 4億6,437万円

選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのため

○行政区振興事業　1,518万円
○生活バス路線運行事業　1,223万円
○福島県知事選挙費　516万円
○第4次振興計画策定事業　292万円
○住宅用太陽光発電設備設置補助事業 200万円



【商工費】 1億924万円

商工業の振興や観光施設の整備などのため

○クロスカントリーコース整備事業　3,973万円
○鹿角平観光牧場コテージ整備事業 2,214万円
○鹿角平遊歩道等整備事業　810万円
○観光振興事業　600万円
○商工業振興事業　545万円



【土木費】 1億3,650万円

道路や住宅を整備、維持するため

○村道鍛川中学校線他1路線舗装工事　6,400万円
○村道維持補修事業　1,000万円
○道路環境美化事業　850万円
○宿ノ入団地整備事業　460万円
○日陰林解消事業　200万円

村づくりの新たなステージに向かって
第4次鮫川村振興計画の策定へ







現在の村づくりの指針である「第3次鮫川村振興計画」（平成17年度～26年度）は今年度が最終年度となります。

振興計画は福祉、保健、教育、産業、土木、防災など村政全般にわたり、基本的な村づくりの方向性を示す全体計画であり、村づくりを進める上で最上位の計画です。

村では、平成27年度から10年間の村づくりの指針となる「第4次鮫川村振興計画」の策定に向けて準備を進めています。

昨年度は、新しい振興計画策定のための基礎的な資料とするため、無作為に抽出した18歳以上の村民を対象に、村づくりについてのアンケート調査を実施しました。また、鮫川中学校の全生徒を対象にアンケート調査も行いました。

さらに、新たな計画をつくるにあたって、現在の振興計画に基づき進めてきた過去9年間の取り組みについて確認するため、現計画に掲げられた施策や事業の達成状況について点検・評価を行いました。

アンケートの結果や現計画の点検・評価の結果については、改めて村民の皆さんにお知らせしていきます。

計画の概要と期間

振興計画は、「基本構想」と「基本計画」により構成され、計画の期間は、平成27年度から平成36年度までの10年間とします。

基本構想は、村の将来像をポすとともに、これらを実現していくための施策の長期的・基本的な方向性を明らかにし、これから村民の皆さんと村が一体となって進めていく行政の指針となるものです。

基本計画は、基本構想の実現のために必要な計画期間中の施策の方向を体系的に整理したもので、村政を総合的かつ計画的に進めていくための指針とするとともに、各種計画や施策の基本となるものです。

策定の流れ

村では、振興計画の策定を次のような流れで進めていきます。

1 現況と課題の把握

現計画に掲げられている各種施策や事業の達成度を点検し、残された課題などを整理します。また、村民アンケートの結果を分析し、今後の村づくりの方向性を考える資料とします。

2 広聴と振興計画原案の策定

できるだけ多くの村民の意見が計画に反映できるように









努め、振興計画原案を皆さんと作り上げていきます。

■**「村づくり委員会」と「策定委員会」**…一般村民で構成する「村づくり委員会」と役場職員で構成する「策定委員会」が何度も議論を重ねながら、計画を練り上げていきます。村づくり委員会と策定委員会は、振興計画を作り上げていく上で、「車の両輪」のようなものです。

■**住民懇談会**…行政区ごとに住民懇談会を開催し、多くの村民から直接意見を聞く機会を設けます。さらに、小・中学校のPTAや各種団体、企業などからも幅広く意見を聞きます。

■必要に応じて講演会や研修会を開催します。

3 村振興計画審議会

村づくり委員会と策定委員会によりまとめられた振興計画（案）は、村振興計画審議会に提出し、意見を求めます。なお、審議会の委員は、条例により議員や一般村民、学識経験者などで構成されます。

振興計画（案）は、審議会の意見などを受けた後、最終的に議会に提案され、議決されて決定します。

問 村企画調整課☎49－3115

一緒に計画を作り上げる 村づくり委員を募集します

「鮫川村をよくしたい」「もっと魅力ある村にしたい」という思いをお持ちの方は、ぜひ応募してください。

応募資格 鮫川村在住で、村の未来について、まじめに一緒に考えていただける18歳以上の方ならどなたでも応募できます。

募集人数 20人程度

活動内容 振興計画（案）がよりよいものになるよう参加した皆さんで意見を出し合い、議論していただきます。会議は、月2回程度。参加者ができるだけ集まりやすい曜日や時間に開催します。

活動期間 原則として平成26年4月下旬から約半年間

申込方法 役場企画調整課にある申込用紙に必要事項を記入し、申し込んでください。申込用紙は、村ホームページからダウンロードすることもできます。

申込期限 平成26年4月15日（火）まで

問 村企画調整課☎49－3115

moe・ryoku

萌力

～興味は偉大なり～

最終回

鮫川村で約一年間を過ごした緑のふるさと協力隊の遠山陽子さん。見知らぬ土地で、さまざまなことに挑戦し、体験をしました。その中でたくさんの人や食、自然との出会いがありました。今回、活動のまとめとして、一年間を振り返ってもらいました。陽子さんの目には、どのように鮫川村が映ったのでしょうか。陽子さんの鮫川村体験記「萌力」、最終回です。

おいしい食べ物と出会えた鮫川村

春

鮫川村での生活は、迷子と共にあったと言っても過言ではありません。来て三日目には三時間半の迷子になり、買い物に出れば常にナビのお世話になり、覚えたと思えばまた迷子になっていました。しかし、知らない道を進み知っている所に出ると、またひとつ鮫川村の道を知ることができたとうれしくなりました。

また、麹菌、ヨーグルト菌と友達になりました。特に麹は思っていた以上に活用の幅が広くて驚きました。味噌や甘酒はもちろんですが、塩麹、醤油麹、時には煮物に砂糖の代わりとして使いました。さらに、初めて体験した味噌作りは、量の多さにあぜんとしました。鮫川村に来るまで味噌一樽なんて見たことがなかったので驚きました。このとき、味噌作りは体力が要ると知りました。

五月になり、大好きな山菜採り。もちろん採るだけでなく、食べることも好きです。しかし、きちんと測っているから安心なのは分かっていましたが、常に放射線量を気にする悲しさ。「これが原発事故の影響な







1、松本定雄さん（浜野沢）の子伝いで、種まきを体験
2、麹作りを教えてもらった関根の小子さん（糸所内）。凍み餅や餅子の作り方も教えてもらいました
3、山積えから収穫までを一緒に体験した鮫川小5年生の子どもたち

のか」と実感しました。基準値以上で食べられなかったコシアブラは、漬物の材料でもあっただけに残念でした。

鮫川村に来てから、たくさんのおいしいものを食べました。産直の野菜はもちろん、じゅうねんや凍み餅、柏餅など、実家に居たときよりもおいしいものを知ったのではないかと思いました。食べ物との距離が近い鮫川村だからこそ、知って食べることができたのだと思いました。

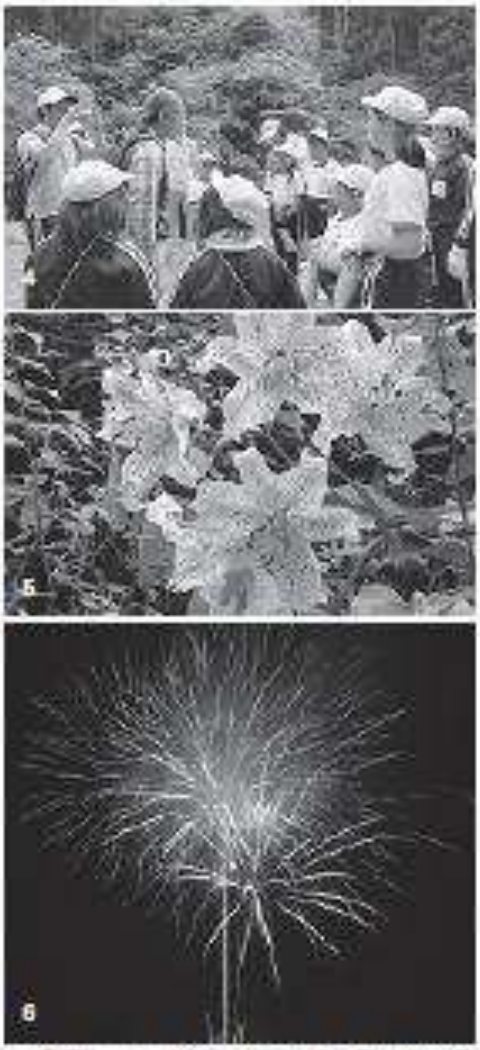
六月には、青生野小学校の子どもたちと「鮫池跡」に行く機会がありました。私が唯一覚えた鮫川村の昔話だと思います。今は池がありませんが、雑木林と植樹林の境がはっきり見られる景色は面白かったです。

夏 ホタルや星空、花火 感動の連続

「ホタルを見たことはあったけど、ここまで多くなかったな」とホタルの光と数に感動しました。また、初めてホタルを捕まえることができて、とにかくうれしかったです。そして、見上げた空の星の多さに驚き、感動しました。横になって眺めようと思えば、いつまでも眺めていられると思いました。

七月を迎えて、シンヨ漬けのメインとなるキュウリ漬けの季節になりました。失敗もしましたがどうにか完成しました。

このころは、村のいたる所に山百合が咲いていました。鬼百合は見たことがありましたが、山百合は初めて見ました。大きくてきれいだと感心しました。一本の茎に大量の花がついている様子は、すごいとしか言えませんでした。



4、青須賀一さん（新宿）の案内で青生野小学校の子どもたちと「鮫池跡」を探検
5、村の花「山百合」が咲き乱れていました
6、夏の夜空に咲いた花火

八月、遠くから見ることが多かった花火大会。鮫川村の花火大会は花火の近さに驚きました。また、供養花火や起業を祝って仲間に花火を贈ったり、誰かを思ってあげる花火は一層きれいだと感じました。人と人とのつながりで作る花火大会は、花火の近さと同じくらい人と人との距離も近いのかなと思いました。

秋 収穫と制作の 秋を満喫

秋の味覚探し。アケビやクルミ、ケリといった味覚を車で探し歩きました。初めて食べたアケビはとてもおいしくて感動しました。また、探してみると村のあっちこっちに木の実があることに驚き、気づかないで通り過ぎてしまうのはもったいないと思いました。

制作に力を入れた秋でもありました。たんがらやキーホルダーなど、いろいろ作りました。

たんがらは通い詰めて教えていただいたので、作り方がよく分かりました。でも手伝ってもらったので、一人で作るのはまだまだ難しいです。機会があったら一人で頑張ってみたいと思いました。

キーホルダーは、クルミの実で何か作れないかと挑戦したものです。作り方があるものではないので、とにかくいろいろ作ってみようと思い制作しました。素人が作るものなので売り物のようにはできませんが、それなりにできたのではないかと、思わず完成品を見て自画自賛しました。

十一月には、「アイディア料理コンテスト」「スローフードパーティー」に参加しました。その中で一番うれしかったのは、作ったケーキをおいしいと言ってもらったことと、鮫川村のおいしいものをお腹いっぱい食べられたことです。その満足感はコンテスト入賞を上回りました。一つ不満があるとすれば、食べたいものが多すぎて全種類食べられなかったことです。胃袋が三つくらいあればいいのにと思わずにはいられませんでした。















1.「老舗のふるさと協力隊」として鮫川村を訪れた友人。取り引き体験しました
2. 初めて作った干し柿。皮をむくのが大変でした
3. たんがら作りのお師匠様・緑川未治さん（内々竜）。手籠や風車などの竹細工も教えてもらいました
4. 収穫の秋ということでクリやクルミ、アケビなどを探し回りました
5. クルミの殻で作ったキーホルダー。殻が硬く、穴を空けるのに苦労しました
6. 凍み餅作りを体験。初めて食べましたが、おいしかったです
7. バレンタインデーに作ったチョコレート。たくさんの人に「おいしい」と言ってもらえて、うれしかったです

干し柿作りにも挑戦しました。百個ほど作り、よくこれだけ皮をむいたと思った一方、食べきれるだろうかと不安になりました。しかし、二月が終わるころには一人で半分以上食べてしまっていたのだから驚きです。食べた友人もおいしいと言ってくれました。できれば、干し柿を使ったお菓子を考えてみたいと思いました。

多くの家で百個以上の干し柿がぶら下がっていたことに、「まだまだ根を上げるのは早かった」とショックを受けました。

1年間の活動の集大成へ

冬

十二月は一年間やってきたことを形にするとき！

シンヨ漬けの本漬けに挑戦です。緑川シンヨさんたちに塩加減をみてもらいながら作ったので、少し塩辛いけど、それなりのものになりました。

「今度は教えてもらった調味料の分量をもとに、自分たちだけで挑戦！」と意気込みましたが、結果は大失敗。しかし、失敗をしたからこそ、脱水して水気を飛ばすことが重要だと分かりました。いくつかの失敗をしましたが、得たものはたくさんありました。そして、一年間のメモと写真をもとにシンヨ漬けのレシピ







8. 1年間通して「シンコ漬け」を教えてもらった繰り米治さんとシンコさん（向ケ竜）
9. シンコ漬けの本漬け作業
10. 完成した「シンコ漬け」。何度も失敗をして試行錯誤を繰り返しました

を制作しました。

一月になり、寒さが厳しくなると凍み餅作り。出来上がった凍み餅はとてもおいしくて、感激しました。また、凍み餅はゴボッ葉（オヤマボクチ）がつなぎとなっていて、凍み餅作りに欠かせない重要なものだと分かりました。ゴボッ葉はあく抜きが大変でした。昔の人は、よくゴボッ葉を使おうと考えたものだと感心しました。

保存食なので常温で保存ができ、一年はもつと聞いてすごいなと思いました。そして、凍み餅はつきたてで食べるより、凍みさせて食べた方がおいしいです。

私が小正月の団子挿しで思い出すのは、地元の「どんどん焼き」です。子どもや大人が団子を焼く火の回りで甘酒を手に立ち話というのが私のふるさとの光景でした。しかし、鮫川村では団子を丸ではなく四角に切るほか、ねじり餅やせんべいを吊るしていたので、カルチャーショックを受けました。しかし、見たことのない形にウキウキしました。飾り終えたミズキは、梅の花が咲いたようで梅の香りが漂ってきそうでした。まるで、春がやってきたみたいでした。

二月のバレンタインデーは、個人的に毎年欠かせない行事です。いろいろなチョコレートを作りました。手まめ館でも売らせていただいて、うれしい限りでした。何より試作ができ、たくさんの人においしいと言ってもらえたおかげで今年も楽しいバレンタインデーを過ごすことができました。

つる籠作りは材料を集めるのが一番大変で、体力と力がいると思いました。材料が集まったら、網目に気をつけてカッコよく編んでいきます。完成したつる籠のかわいさに思わず自画自賛してしまいました。

鮫川村の皆さんに感謝でいっぱい

私にとって、鮫川村はマイペースな私がマイペースなまま生活することを許してくれる場所でした。鮫川村に浸って生活した日々は、紹介しきれないほどいろいろなことがありました。一年を振り返るまで、まったり過ごしていたと思っていただけに、これほどいろいろな経験をしていたことに私自身驚いています。しかし、それくらい鮫川村は体感時間がゆっくりなのではないかと思いました。

私自身いたらない点もたくさんあったと思います。それでも温かく迎えてくれた皆さんには、言いきれないくらいの感謝でいっぱいです。

ふらりと遊びに来た時には、一緒にお茶が飲めたらうれしいです。一年間、ありがとうございました。



こどもセンターで団子挿しを体験

村公式ホームページをリニューアルしました

【URL】http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■トップページ
トップページを「観光情報」と「くらし・行政情報」の2つに分け、それぞれに入口を設けました。さらに見やすく、必要な情報を探しやすくしました。



観光情報トップページ



くらし・行政情報トップページ



4月1日（火）から村公式ホームページを全面的にリニューアルし、公開しています。

トップページのデザインを一新することで、簡単に知りたい情報にアクセスできるようにしたほか、見やすさも向上させ、さらに使いやすいホームページとなりました。また、パソコンだけではなく、携帯電話やスマートフォンからもアクセスできます。

なお、現在使用しているURLは変更ありませんので、引き続き上記のURLでご覧ください。

問 村企画調整課☎49・3115

新たな機能が追加

■鮫川村公式Facebook
村の旬な観光・イベント情報やJ-ALERT（全国瞬時警報システム）からの災害情報などを発信します。

■登録制メールサービス
あらかじめ登録した方々の携帯電話などに観光情報や村で発生した災害情報などを電子メールで配信します。登録方法については改めてお知らせします。

仮設焼却施設の本格運転を再開しました

第11回仮設焼却炉監視委員会を3月17日（月）に開催しました。会議では、1月30日から3月14日まで実施した仮設焼却炉確認運転の結果および本格運転の進め方について、環境省から村監視委員会に説明がありました。

委員からは「焼却対象物と焼却灰の放射性セシウム濃度について」「教育・訓練について」「セメント固型化灰の保管方法等について」の質問がありましたが、全員が本格運転に賛成しました。

村監視委員会の結果を受け、本格運転の再開について環境省と村が協議した結果、本格運転を3月18日（火）から再開しました。

また、本格運転に先立ち、採取した排ガスの放射性セシウムおよびダイオキシン類の分析、仮設焼却施設周辺の水および土壌の検査を行いました。さらに、仮設焼却施設周辺の空間線量については継続的に実施しています。測定結果などについては、次のとおりです。

なお、確認運転の結果および本格運転の進め方については、村と環境省のホームページからダウンロードできます。

問 村地域整備課環境係☎49-3196

■施設周辺の空間線量（3月20日実施）　[μSv/h]

	測定場所	測定値		測定場所	測定値
モニタリングポスト測定値	仮設焼却炉入口	0.10	仮設焼却炉周辺の測定値	施設東側 120m	0.10
	青生野小学校	0.11		施設南側 120m	0.14
	岡田山悪山道入口	0.11		施設西側 120m	0.16
	青生野肥育組合	0.16		施設北側 120m	0.18
	鹿角平観光牧場	0.09		仮置場看板付近	0.10
				石久保線起点	0.14
				石久保線終点	0.14
				和協管理棟付近	0.11

■排ガスの分析結果

	採取日	採取場所	管理値（村独自）	測定結果
放射性セシウム濃度	2月25日（火）	バグフィルター出口	2Bq/㎥N以下（※1）	不検出（※2）
	採取日	採取場所	基準値	測定結果
ダイオキシン類濃度	2月25日（火）	バグフィルター出口	5ng-TEQ/㎥N	0.00057ng-TEQ/㎥N

（※1）環境中の濃度限界の10分の1以下の値　（※2）検出下限値は0.74 Bq/㎥N未満

■施設周辺の放射性物質濃度（村独自）

	採取日	採取場所	検出下限値 [Bq/kg]	測定結果 [Bq/kg]
沢水	3月17日（月）	久慈川水系、鮫川水系	3.06～4.27	不検出～7
土壌	3月17日（月）	施設の4方向 120m	2.18～3.22	52～593

国保診療所の新しいお医者さん



佐藤蕃（しげる）先生

4月1日（火）から村診療所に着任した佐藤蕃です。よろしくお願いします。

患者さんの考えや悩みを聞き、薬に頼りすぎることなく、病気の治し方や健康の保ち方を提案していきたいと考えています。私も鮫川村民の一員になったので、要望などがあれば遠慮なく話してください。

■国保診療所の新診療体制

診療時間　▼月曜日～金曜日…午前8時30分～正午、午後1時30分～午後5時　▼土曜日…午前8時30分～正午

担当医　▼月・火・土曜日…佐藤先生▼水・木金曜日…北崎先生

問 村国民健康保険診療所☎49-2028

新酒の味を確かめる
「鮫川21」をお披露目



原酒純米吟醸「鮫川21」のお披露目会は3月3日、手まめ館で行われ、参加者は新酒の味を確かめました。西山成苗組合が村の農業振興を願い、無農薬無化学肥料で「農林21号」を栽培。藤田屋本店（棚倉町）が仕込みました。

多くのご利用に感謝
村民の店「すまいる」が来店者1万人達成



昨年11月にオープンした村民の店「すまいる」は3月5日、来店者1万人を達成しました。1万人目となった我妻トシ子さん（落合）には、関根商工会長から記念品が手渡されました。我妻さんは「1万人目になるとは思わなかった」と驚きを隠せない様子でした。

桜に願いを込めて
村内小・中学生が卒業記念植樹



今年3月に卒業を迎えた小・中学生の卒業記念植樹は3月6日、鮫山公園で行われ、青生野小6年生1人と鮫川小6年生32人、鮫川中3年生36人が参加しました。子どもたちは鮫山公園の「記念植樹エリア」にオオヤマザクラ5本を丁寧に植えました。

梅の木の手入れを学ぶ
富田地区で梅の木剪定研修会



富田地区夢づくり協議会が地域活性化などを目的に「富田梅千本の里づくり事業」を進めている観光梅園（彦次郎）で3月9日、梅の木剪定研修会を行いました。参加者は質問をするなど、熱心に剪定方法や病害虫防除などの知識を深めました。

村政TOPICS

岩野草地区に集会施設が完成



テープカットで完成を祝う関係者

西山学岩野草地区の「岩野草コミュニティセンター」が完成し、落成式・祝賀会が三月十六日、同施設で行われました。

岩野草地区は年五十回を超えるほど集会活動が活発である一方、集会施設がなく工場跡地を借り、集会などに利用していました。そのような中、地区住民の要望もあり、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の採択を受けて建設となりました。

式には、子どもを含めた地区住民約五十人が出席。テープカット、餅まきを行い、完成を祝いました。

高木知一代表が「地域のあらゆる行事に利用したい」と式辞を述べ、さらに

ほっとニュース

思い出の学び舎を巣立つ
村内小・中学校で卒業証書授与式

村内小・中学校の卒業式は、鮫川中学校が3月13日、青生野・鮫川両小学校では、同20日に各校体育館で行われました。

このうち鮫川中学校では36人（男子17人、女子19人）の生徒が晴れて卒業。佐藤勝久校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。なお、鮫川小学校（八代之宏校長）では32人（男子13人、女子19人）、青生野小学校（遠藤真由美校長）では女子1人が、思い出多い学び舎を巣立ちました。







1 全校合唱で締めくくった卒業証書授与式（鮫川中学校）
2 在校生と保護者に拍手で見送られる卒業生（鮫川小学校）
3 遠藤校長から卒業証書を授与される卒業生（青生野小学校）

卒園児がリズム運動や歌を披露
さめがわこどもセンターで幼稚園卒園式



一人一人に卒業証書が手渡された卒園式

平成25年度幼稚園卒園式は3月19日、さめがわこどもセンターで行われました。式では、第1部として授与式が行われ、卒園児28人（男子15人、女子13人）に鈴木園長から卒園証書を授与。第2部では、卒園児がリズム運動や歌などを保護者の前で披露しました。

感謝の思いを胸に旅立つ
県立修明高校鮫川校卒業証書授与式



16人が学び舎に別れを告げた卒業式

県立修明高等学校鮫川校の卒業証書授与式は3月1日、同校体育館で行われ16人が学び舎を巣立ちました。式では、卒業生一人一人に水野校長から卒業証書が手渡されました。卒業生を代表して鈴木真純さんが両親や先生、在校生への感謝などを述べました。

村政TOPICS

東京農大生が研究成果を発表



1年間のまとめとして行われた発表会

東京農業大学研究成果発表会は三月十八日、村公民館で行われ、東京農業大学短期大学部生物生産技術学科の学生が一年間、鮫川村で水稲栽培の実証実験を行った成果を発表しました。

研究は、循環型栽培体系を目指す鮫川村の拠点施設・豊かな土づくりセンター「ゆうきの郷土」が製造するたい肥を使い行われました。化学肥料を使用した場合の収量や品質などとの違いについて研究を重ねました。発表会には、手まめ館の生産者など約五十人が参加し、熱心に学生の発表を聞いていました。

親交を深める施設とする意志を新たにしました。

村民【随想】リレー一〇〇

清水大翼さん

酪農と出会って

DAISUKE SHIMIZU



しみず・だいすけ＝昭和63年1月生まれ。赤坂東野字蕨貫在住。明日香子ども会立の湖(蕨貫)動物、趣味はスノーボード。「どんなときでも楽しく」を心掛けている。

僕が鮫川に帰ってきて二年が経ちました。高校卒業と同時に家を出て、神奈川県で四年間の大学生活、北海道で二年間の酪農研修を経て戻ってきました。

大学に入ったばかりのころは、漠然と動物に関わる仕事がしたいと思っていました。そんな僕が二年生のときに出会ったのが「酪農」でした。最初は単位のために行った酪農実習でしたが、実習をしているうちに酪農家の方の生き方に憧れるようになりました。そして、自分も酪農家になると決めて、四年生の時の夏休みにバイクで北海道を一周し、研修先を探しました。無事に研修先も見つかり、卒業後は遠軽町の白滝という地域で二年間の研修生活を送りました。

平成二十四年に鮫川に帰ってきて、自分の牧場をオープンする準備を始めました。今の夢は、牛がのびのび暮らし、そこで働く人、訪れた人がリラックスできる牧場をつくることです。そして、牧場内で牛乳をソフトクリームに加工して、多くの人に食べてもらいたいです。おいしいソフトクリームを作るので、できた際はぜひ食べてみてください。牧場への来場も大歓迎です。お待ちしています。

■

次は、鈴木勇二さん(赤坂蕨野字末戸沼)にバトンタッチ！

俳句

立春にこのブランコや並びおり　中井　恒峯
大雪に閉じ込められた猫と母　黒田　寿香
再婚の息子の背のはがしり春隣　土　亀竜
庭先の雪の固まりつるはして　北條芙人坂
無人駅客がちらほら雪のや　松本　精一
百歳を目指し感謝のひなまつり　小松ハルエ
フロントに氷の花の広がれり　前田　綾子
渡道をゆずり合いでねむ朝　山本　恵子
絵手紙の絵もやさし蕗のとう　鈴木　米子
春を待つ小鳥の声の遠けて来る　高須　信子
豆撒えて節分の豆売られおり　山本五十鈴

短歌

難病を克服せしを記念して友は作れる　フクロウのキルト　鈴木イミ子
生きていて良かったねと冗談を交えて流らす友らの笑顔　佐藤　春枝
新せばそれなりにある収穫を糧に満たして今朝も帰り来　矢吹　定子
季という息みを自然に書して咲く花の一つ白蕾梅の色　須藤　幸子
村外れ何故か風さえ温かく迎えてくれる家回気に会う　水野　瑛子

さめがわを彩る集い 25

良い緊張感を味わいながら舞う



静山流静慧会鮫川教場

代表　藤田ヨシエ／会員８名

詩吟に合わせて舞う「詩舞」を行っている静山流静慧会鮫川教場。吉田ミエさん（都山市）と小松千枝さん（石川町）の指導のもと、週一回の練習に取り組んでいます。大会出場のほか、村芸能発表会などへの参加、ボランティアとして福祉施設などで舞を披露しています。踊りの構成がきれいと評判だそうです。

詩舞は「男踊り」といわれ、衣装は主に紋付き袴。基本姿勢や歩き方などはりりしく、めりはりがある舞が特徴です。人前で披露することで良い緊張感が味わえ、刺激になっているといいます。また、練習の合間に仲間と話をすることも一つの楽しみです。

若い人たちに踊りを伝えられるよう、今後も元気に続けていきたいと話してくれました。

Book

読書の街路

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館 29-1150

駅物語

（朱野帰子著、講談社）



毎日100万人以上が乗降する東京駅に配属された若菜。弟の夢を知るため、そして自分を助けてくれた5人を探すためだったが、定時発車の奇跡を目の当たりにし、鉄道員の職務に圧倒される。駅を支える人と行き交う人を描いた作品。

なきむしおにごっこ

（おのりえん著、ポプラ社）



涙がいっぱいたまった日でゆうすけが不思議な生き物を見たときから、おにごっこは始まっていた。その小鬼を捕まえないと角が取れなくなってしまう。「下見て、めそめそすんな。上見て、どかんと泣けよ」

第３土曜日は 家族一緒に読書の日

何時の世も子供は宝　日常の暮らしを光りあるものにして　関根　瑞恵

真にうけて作りてみたる外国の野菜にも満つ種の調べは　湯井　清乃

雪の下畑の土は種一杯　酸素を溜めて春を待つという　坂本　伊紀

改めて生の力を養えば　笑むがに送る　病院の窓　一　平子

夫愛でし黒松雪に折れまいかと添え木を孫と立てほっとする　石井　幸子

土手に咲く福寿草成い雪を掃く素雪続きて根も尽き果て　須藤シツエ

無愛想我を見捨てず訪れる心の内で感謝に堪えず　松本　一郎

テレビにて見る素雪の映像は想像以上の恐怖も感じる　前田喜三子

川風の寒さに耐えて猫柳銀色に光り目を出しており　関根ヨネ子

炬燵にて夫の眠れる傍にいて短歌作るも纏まらずして　関根ハナヨ

思い出す昭和の素雪再びと余りに多く捨て場も無きまま　関根　富久

統計を取り始めてより百二十年素雪猛威大混乱に　板橋　源良

大学の入試を終えて帰り来る孫に薪の風呂沸かし待つ　関根キヌ子

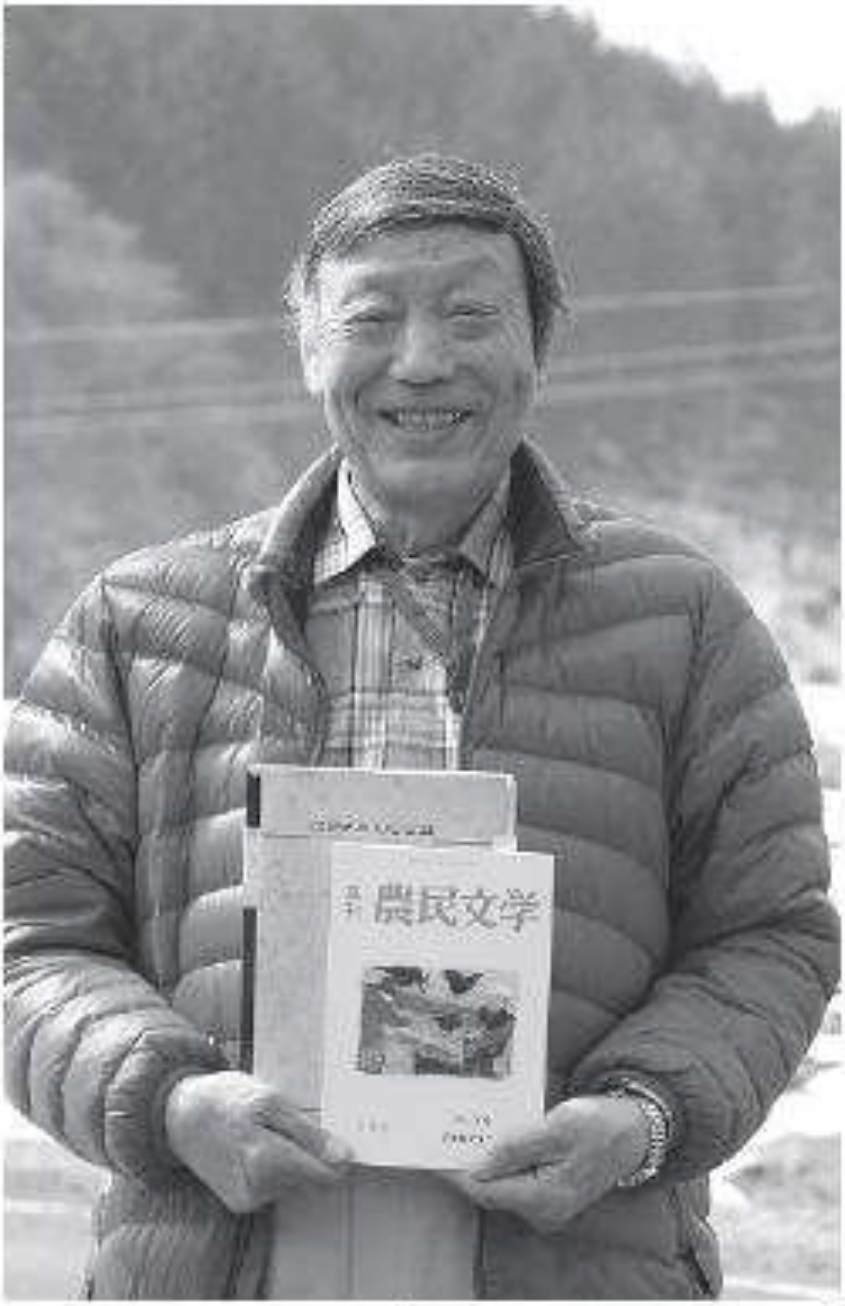
記録的大雪災害日本列島に政策遅れの此れも想定外か　矢吹　一二

素雪に耐えて咲きたる福寿草雪の隙よりほのと春めく　北條　平

あなたの光る技
キラり
Vol.21

日記
鷲野谷弘行さん
きぎのや・ひろゆき／高田字二反田／72歳

1日3度の食事と同じ日記が1つの生きがいに



書くことがないという日はないと話す弘行さん。きれいなことでも気づいたことや思ったことを日記に書き記しています。

中学三年生の「元日から五十七年間、日記を書き続けている鷲野谷弘行さん。今回、日本農民文学会発行の季刊誌『農民文学』にその一部が掲載されました。「山仕事日記」と題し、定年退職後に山仕事に従事し、日々の作業などを記したものです。

中学三年生のとき、「日記は三日坊主」という話を聞き、「そんなに続けられないのなら挑戦してみよう」と思い立ちました。「何か一つでもやってやろう。そうでなければ生きがいを感じられないという思いでした」と当時を振り返ります。そして、あるときから日記を書かないと眠れなくなったといいます。

「どんなに夜遅くても書かずにはいられません。私にとって日記を書くことは、一日三度の食事と同じなんです」と笑います。

日記には、天気と風の様子を欠かさず書き、農作業の内容やそのときの情景、「たんぽぽが咲いた」など細かく書き記されています。

今後も日記を書き続け、「山仕事日記」第二部も投稿しようと考えているそうです。



最初は大学ノートに万年筆で書き始めた日記。5冊目の日記はすべてミカン箱に入れて大切に保管しています。

若者の広場　No.112

Young Plaza

高坂美香さん

地域の人たちが家族のよう



たかさか・みか
平成4年7月24日生まれ　21歳
A B型　しし座
趣味はおでかけ
赤坂西野字上存住

■今、夢中になっていることは何ですか？

小さいころから小物類が好きで、雑貨を集めたりインテリアなどを見に行ったりしています。

■将来の夢や目標は何ですか？

私は弟との2人姉弟なので、大家族に憧れています。将来、結婚して子どもがたくさんほしいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

出勤するときなどに、近所の人が家族のように「いってらっしゃい」など声をかけてくれます。地域の人たちが親しく温かいと感じます。また、鮫川村にカフェができてよかったです。まだ行ったことがないので、時間があるときに行ってみたいと思っています。

■鮫川村に要望などはありますか？

街灯が少なくて運転していて怖いので、少しでも増やして明るくしてほしいです。また、鮫川村もお年寄りが多いので、デイサービスなどの支援や福祉施設がさらに充実するといいなと思います。

■

次は本郷広貴さん（赤坂東野字戸草在住）の予定です。

学校だより

（114）

鮫川中学校編

卒業生による記念植樹

三月六日、森づくり百年委員会主催で記念植樹を行い、桜の苗木を植樹しました。卒業生の思いが大きく育ち、十年後、二十年後に見事な花を咲かせることを願っています。



第67回卒業証書授与式 36名が学舎を巣立つ

三月十三日、卒業式が厳粛な雰囲気の中で行われました。三十六名の卒業生が卒業証書を手に、学舎を巣立っていきました。

在校生を代表して新生徒会長の石井成美さんが送辞、卒業生を代表して須藤康太さんが答辞を述べました。三年前の入学式が震災により技術室だったこと、三年間の活躍の数々、感謝の気持ちや明るい希望など素晴らしい内容でした。



優秀者への表彰

皆勤賞（三年間無欠席）
笹島綾人、鈴木終平、鈴木達也、須藤康太、生田目大輝、芳賀弘康、藤田樹、藤田一秋、薄井歩、田子真理、生田目莉奈、芳賀亜香理、緑川春香、湯座彩香

体育文化功労賞
▼Jr.オリンピックB走幅跳第3位…須藤悠太▼漢字検定準2級合格…橋本明寿香▼英語検定準2級合格…我妻奈桜

学力テスト三冠王（校内漢字・計算コンクール、部スペリングコンテストの調点合格者）
鈴木終平、小松由希、橋本明寿香、園井恭輔、武藤貴仁、石井成美、増子美咲、我妻奈桜、岡根春歌、橋本侑香、鷲野谷海翔

三年間の無欠席とこの一年間の活躍、本当におめでとうございました。

（文・写真／鮫川中学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ 年金

国民年金保険料 免除申請期間が拡大

国民年金保険料は、平成26年4月から免除申請できる期間が過去2年(2年1カ月前)までさかのぼって申請ができるようになりました(学生納付特例も同様です)。

免除申請が遅れると万一の際に障害年金などを受け取れない場合がありますので、速やかに申請してください。なお、前年所得や失業などの状況に応じて審査を行いますので、承認されない場合があります。

手続きについては、役場窓口または年金事務所に申請書を提出してください。

問 白河年金事務所☎0248・27・4161

ⓘ 募集

「福島の桜」をテーマに写真作品を募集

テーマ 福島県内の桜のある風景をとらえたもの

作品受付期限 平成26年5月23日(金)必着

応募資格 1人3点までとし、資格は問いません。

応募条件 ▼カラープリント4つ切り▼平成22年4月以降に撮影したもので、他団体主催の写真コンテストなどに応募していないものに限ります(グループ展、個展で発表した作品は応募可能です)。▼組写真および日付入りの写真は不可です。▼デジタルカメラで撮影した場合は、1000万画素以上のものに限ります。▼合成や変形など事実を改変する画像加工は不可です。▼入賞に選ばれた際は、ネガまたはポジ(デジタルカメラの場合はCD・R)を提出していただきます。

応募方法 募集要項の応募票を作品の裏面に貼って、NHK福島放送局に郵送してください。なお、募集要項についてはNHK福島放送局、郡山支局、いわき支局などで配布していますので、お問い合わせください。

問 NHK福島放送局☎024・526・4660(平日の午前9時30分から午後6時まで)

国家公務員 一般職(高卒者)募集

人事院は、国家公務員採用一般職(高卒者)試験を実施します。申込方法や受験資格などの詳細については、お問い合わせください。

申込受付期間 ▼インターネット…6月23日(月)～7月2日(水)▼郵送・持参…6月23日(月)～26日(木)

第1次試験 9月7日(日)

問 人事院東北事務局☎022・221・2022

8日は 歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。4月の担当は ――

学校給食センター
芳賀公美さん
(3月25日録音)



■電話番号

鮫川村役場(代表・総務課)	
☎ 0247-49-3111	
FAX 0247-49-2651	
住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199
【その他の機関】	
教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター(保育園・幼稚園)	29-1010
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
軽自動車税
※納期限：4月30日(水)

information

公民館事業のお知らせ

平成26年度に計画している公民館事業をお知らせします。次に紹介する事業以外にも、講座や教室を計画しています。詳細については、戸別に配布するチラシなどで確認してください。

■趣味・教養向上講座
陶芸や竹細工など、幅広い趣味・教養に関する要望にお応えする講座です。

■お料理講座
国籍や内容にとらわれない料理教室を実施します。

■社会学級
60歳以上の村内居住者を対象に、年間を通してさまざまな講座などを実施します。

■チャレンジスクール
村内の学校に通う児童・生徒を対象に、年間を通してさまざまな体験活動を実施します。

村公民館（村教育委員会教育課）☎49-3151

平成26年度の統計調査

平成26年度に実施を予定している主な統計調査は次のとおりです。統計調査の結果は、さまざまな行政施策の基礎資料として活用されますので、ご理解とご協力をお願いします。

■平成26年経済センサス基礎調査および平成26年商業統計調査
調査の期日　平成26年7月1日現在

■平成26年工業統計調査
調査の期日　平成26年12月31日現在

■2015年農林業センサス
調査の期日　平成27年2月1日現在

村企画調整課企画振興係　☎49-3115

案内

国民健康保険の自己負担割合が変更

70歳から74歳までの方の医療機関の窓口負担は、法律上2割、特例措置1割となっていましたが、平成26年度から見直されました。

平成26年4月2日以降に70歳の誕生日を迎える方（誕生日が昭和19年4月2日以降の方）は、誕生月の翌月（1日生まれの方は誕生月）から2割負担となります。ただし、平成26年4月1日までに70歳の誕生日を迎えた方（誕生日が昭和19年4月1日以前の方）は、これまで通り1割負担。一定以上の所得がある方は、引き続き3割負担です。

村住民福祉課住民係☎49-3113

バス通学利用者に定期券購入費を助成

村は、村内を走る生活路線バスの通学利用者に定期券購入費を助成しています。対象となる方は、役場に申請書を提出してください。

対象者　村内に住民登録があり、定期券を購入しバスを利用する通学生

対象バス路線　▼福島交通線「宝木経由鮫川線」（石川町行き）、「塙・鮫川線」（塙町行き）▼村営バス「あおぞら号」（棚倉町行き）

助成額　定期運賃の半額を上限として助成します。

定期券販売窓口　▼「宝木経由鮫川線」「塙・鮫川線」…福島交通線石川営業所および棚倉出張所▼村営バス「あおぞら号」…役場住民福祉課窓口

村企画調整課☎49-3115

住宅用太陽光発電システム設置に補助金

村は、住宅用太陽光発電システムの設置者に対し、補助金を交付します。申請方法や必要書類などの詳細については、役場企画調整課にお問い合わせください。

補助金額　1キロワット当たり4万8千円（5キロワット・24万円上限）

村企画調整課企画振興係☎49-3115

男女雇用機会均等法「間接差別」の対象範囲が拡大

平成26年7月1日から改正「男女雇用機会均等法施行規則」が施行され、それに伴い、同法で禁止している「間接差別」の対象範囲が拡大します。

間接差別　次の措置を合理的な理由なく講じること▼労働者の募集または採用に当たって、労働者の身長、体重または体力を要件とするもの▼労働者の募集もしくは採用、昇進、職種の変更に当たって、転居を伴う転勤に応じることができることを要件とするもの▼労働者の昇進に当たって、転勤の経験があることを要件とするもの

福島労働局雇用均等室☎024-536-4609

April 4

㊡＝休日当番医　[公]＝公司館　[図]＝図書館　[保]＝保健センター
[ト]＝農業者トレーニングセンター　[こ]＝こどもセンター

火	水	木	金	土
4/1 ◉送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）	2 ◉送迎バス運行日（中野・東野方面） ◉手・まめ・館定休日	3 ◉送迎バス運行日（涼瀬・青生野方面） ◉すまいる定休日	4 ◉こどもセンター保育始め	5
8 ◉送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）	9 ◉送迎バス運行日（中野・東野方面） ◉入園式[こ] ◉筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	10 ◉送迎バス運行日（涼瀬・青生野方面）	11 ◉筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	12
15 ◉送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ◉筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	16 ◉送迎バス運行日（中野・東野方面） ◉やまぶきの会…10:00～15:00[保]	17 ◉送迎バス運行日（涼瀬・青生野方面） ◉筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	18 ◉心配ごと相談…13:00～15:00[保]	19
22 ◉送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ◉筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	23 ◉送迎バス運行日（中野・東野方面） ◉筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	24 ◉送迎バス運行日（涼瀬・青生野方面）	25	26
29 昭和の日 ㊡鳴澤生病院（塩町）☎43-1145 ◉図書館休館日 ◉トレセン休館日	30 ◉送迎バス運行日（中野・東野方面） ◉筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ◉軽自動車税納期限	5/1 ◉送迎バス運行日（涼瀬・青生野方面） ◉すまいる定休日	2	3 憲法記念日 ㊡木村医院（大原町）☎46-3528 ◉図書館休館日 ◉トレセン休館日 ◉ふるさと春まつり
6 振替休日 ㊡ふじた循環器科内科クリニック（緑倉町）☎33-2013 ◉図書館休館日 ◉トレセン休館日	7 ◉送迎バス運行日（中野・東野方面） ◉手・まめ・館定休日 ◉筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	8 ◉送迎バス運行日（涼瀬・青生野方面） ◉1歳6カ月健診…13:00～[保]	9	10

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

2月届け出分・敬称略



鈴木（すずき）　大飛（かしゅ）・男
平26.1.18生
住所…東前田
保護者…大助・さおり

おくやみ

2月届け出分・敬称略

住所	氏	名	月日	年齢
丸谷地	吉成	四郎	2.4	83歳
大平	関根	忠雄	2.7	91歳
田尻	近藤	よし	2.20	92歳
西野沢	芳賀	喜代	2.22	86歳

人の動き

3/1現在・（ ）は前月比

人口	3,906人	（＋ 4）
男	1,958人	（＋ 1）
女	1,948人	（＋ 3）
世帯	1,163戸	（－ 2）

寄付寄贈

2月受理分・敬称略

■社会福祉事業のために［金員］…吉成正富（丸谷地）　関根恭治（大平）　芳賀文行（西野沢）　鮫川村老人クラブ連合会（我妻隆会長）

■ひだまり荘へ［タオル］…関根美男（余所内）　鮫川村老人クラブ連合会（我妻隆会長）

■村の事業のために［金員］…たすけあいネット・さめがわ（清水国明会長）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

■訂正とおわび
広報さめがわ3月号のホちゃんの名前に誤りがありました。正しくは「赤坂裏来くん」です。ここに訂正し、おわび申し上げます。

編／集／後／記

■広報担当3年目の春を迎えました。引き続き、皆さんにご協力いただきながら広報紙を発行していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。■各学校の卒業式では、新たなステージへの旅立ちに目を輝かせる卒業生の姿がありました。自分自身の卒業式のときとは、違った感動を得ることができました。（前田）

ⓘ 暮らしのカレンダー

日	月
6 ㊗東部診療所（矢幕町）☎46-3165 *第1日曜日は環境美化の日*	**7** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●小中学校入学式 ●小中学校第1学期始業式
13 ㊗大木医院（塚倉町）☎33-2424	**14** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／境界生病院
20 ㊗東白川中央医院（塚倉町）☎33-3263	**21** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
27 ㊗おおひら整形外科クリニック（塚倉町）☎33-9468	**28** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
4 みどりの日 ㊗あらまちクリニック（塚倉町）☎33-0018 ●ふるさと春まつり *第1日曜日は環境美化の日*	**5** こどもの日 ㊗つちやクリニック（塚町）☎43-2250 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●ふるさと春まつり



Happy Wedding File_09

矢吹聖さん 眞美子さん

南阿蘇字賀沢／平成25年11月結婚

●奥様の出身地はどちらですか？…白河市です。結婚して初めて鮫川村に来ました。のどかな所という印象でした。

●２人が知り合ったきっかけは？…友人の紹介で知り合いました。一緒にいて自然体でいられることが結婚の決め手でした。

●出会ったときのお互いの第一印象は？…（夫→妻）元気で明るい人　（妻→夫）気さくで話しかけやすい人

●子どもは何人ほしいですか？…男の子と女の子，１人ずつほしいです。

●理想の家庭は？…常に笑顔がある明るい家庭にしたいです。子どもができたら、新婚旅行で行った沖縄県にまた行きたいと思っています。

こちら村長室

▼四月からの診療報酬の改定は、高齢化で医療や介護を必要とする人が爆発的に増えることへの対応策となります。医師や介護施設の数が需要の伸びに追いつかず、国や自治体の財政を圧迫します。一人当たりの医療費でみると、七十五歳以上は年間八十九万円で六十五歳未満の五倍。費用を抑うことも医師や看護師、介護職を増やすことも容易でないことです。▼国が目指す高齢者の将来像は、病院中心の形を見直し、「時々入院、ほぼ在宅」。患者が自宅で暮らすことを基本とし、入院が必要でも極力短期間にする医療の形。病院に駆け込み医師を見てもらう「病院完結型」から、かかりつけ医や看護師が患者を定期的に訪ねて診察する「地域完結型」に変えていく改革が動き出します。▼私たち村民一人一人が日々の生活に喜びや生きがいを見いだし、また体力維持に努めていけるような村政の推進に努力しなければならないと考えさせられ、意を新たにしているところです。

大衆勝弘